

# 足羽川堰堤地区 維持管理計画書

(第 2 回 変 更)

足羽川堰堤土地改良区連合

## 第1章 地域及び地積

### 第1節 地域

本地域は、福井市の南東部に位置し、東方は一乗谷と接し西方は一級河川日野川までの一級河川足羽川沿いに展開する地域である。

受益面積は1,944.6haで、基幹作物が水稻、大麦等の水田地帯である。

福井市： 稲津町・枋泉町・深見町・上東郷町・下東郷町・円成寺町・東郷中島町・東郷二ヶ町・岩倉町・田治島町・田中町・西大味町・東大味町・生部町・西袋町・大村町・帆谷町・北山新保町・北山町・徳光町・上細江町・下細江町・上河北町・下河北町・太田町・二上町・半田町・西方御幸・和田東・和田・和田中・和田中町・上北野・問屋町・成和大東・印田町・殿下町・寮町・河水町・荒木別所町・曾万布町・合島町・大畑町・岡西谷町・次郎丸町・宮地町・篠尾町・梅野町・荒木新保町・荒木町・成願寺町・上毘沙門町・中毘沙門町・下毘沙門町・上六条町・天王町・下六条町・江端町・上蒔生田町・下蒔生田町・下荒井町・小稲津町・下馬・下馬町・羽水・馬垣町・板垣・春日・木田・大町・別所町・花堂南・舞屋町・種池町・種池・江守中・江守中町・西谷・南江守町・小路町・南山町・安原町・脇三ヶ町

### 第2節 地積

市町村名	地 積				備考
	田	畑	その他	計	
	ha	ha	ha	ha	
福 井 市	1,944.6	—	—	1,944.6	
合 計	1,944.6	—	—	1,944.6	

## 第2章 地域の現況

### 第1節 地形

本地域は一級河川足羽川の両岸に展開する平坦地で、地形は東側から西方に傾斜している。  
地区内の農地は水田がほとんどで、面積 1,944.6ha の広大な地域である。

地区内の標高は 6.5m ～ 25m で土壌は第四紀沖積層にして概して肥沃な土地であるが、  
河川沿いは一部砂礫層である。地区内の土壌は大部分が細粒強グライ土または細粒グライ土で  
地下水位が高く湿田地帯である。

### 第2節 気象

#### 1. 一般気象

観測所名 福井観測所	農 耕 期	非 農 耕 期	平均	備 考
観測期間 H23年～R2年	(5月～9月)	(10月～4月)	(年間)	
平均気温(℃)	23.8	8.9	15.1	
平均降水量(mm)	194	207	202	
平均降水日数(日)	11	17	15	
根雪期間	12月～	3月	一日間	
無霜期間	4月～	11月	一日間	H30.9.4
最多風向	S(南)	最大風速	21.8 m/s	

#### 2. 特殊気象

観 測 所 名 福 井 観 測 所		順 位					備 考
観 測 期 間 H3年～R2年		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	
最大日雨量(mm)	数 量	198	162	144	138	134	
	年 月 日	H16. 7. 18	H18. 7. 18	H7. 7. 3	H25. 7. 29	H24. 9. 6	
	発生確率	1/101	1/22	1/11	1/9	1/8	
最大時間雨量(mm)	数 量	75	63	63	55	55	
	年 月 日	H16. 7. 18	H21. 8. 2	H24. 9. 6	H25. 7. 13	R2. 9. 4	
	発生確率	1/43	1/17	1/17	1/10	1/10	
最大4時間雨量(mm)	数 量						
	年 月 日	記 録 な し					
	発生確率						
最大連続雨量(mm)	数 量	567	534	350	347	341	
	年 月 日	H7. 7. 1 ～7. 22	H18. 7. 11 ～ 7. 27	H25. 11. 15 ～12. 11	H30. 9. 3 ～9. 18	H26. 8. 2 ～8. 30	
	発生確率	1/61	1/45	1/8	1/8	1/7	
最大連続干天日数(日)	数 量	34	32	29	25	23	
	年 月 日	H30. 7. 13 ～8. 15	H6. 7. 8 ～ 8. 8	H9. 8. 8 ～ 9. 5	H22. 7. 16 ～ 8. 9	H14. 5. 19 ～6. 10	
	発生確率	1/47	1/32	1/17	1/8	1/5	

### 第3節 水利状況

本地区の用水は、一級河川足羽川を水源とし、地区の上流に位置する足羽川頭首工により左岸側から取水している。幹線導水路及び沈砂地を経て、足羽川の右岸・左岸に分水し、右岸側はサイフォンにより足羽川を横断し酒生幹線用水路にて配水されている。左岸側は徳光幹線用水路、六条幹線用水路及び足羽三ヶ用水路に分水され、六条幹線用水路は下流で木田用水及び江守用水に分水され、地区にかんがいされている。

排水は地域の幹線排水路より一級河川足羽川、荒川、狐川及び江端川に排水されている。

### 第4節 耕地面積及び専兼業農家戸数

市町村名	一戸当り平均耕地面積			総農家 戸 数	専兼業農家戸数			備考
	田	畑	計		専 業	兼 業		
						第一種	第二種	
	ha	ha	ha	戸	戸	戸	戸	2020年農業 センサスより
福井市	2. 10	0. 36	2. 46	3, 387	－	－	－	

## 第3章 維持管理計画

### 第1節 事業の目的

県営土地改良事業、農業用水再編対策事業（地域用水機能増進型）足羽川頭首工地区及び基幹水利施設補修事業で造成された施設で、管理を県より受託した施設の機能を維持保全し良好に維持管理することで農業用水の確保と適正な配水により、農業経営の安定並びに地域用水の機能増進を図る。

### 第2節 かんがい施設関係

#### 1. かんがい施設の種類、規模及び維持管理の方法

##### (1) 頭首工

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 の 方 法	備 考
1. 堰本体 (足羽川頭首工)	・フローティングタイプ	103.7m	足羽川堰堤土地改良区連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の点検、整備</li> <li>・軽微な損傷箇所の補修</li> <li>・専門業者による定期の点検、整備</li> <li>・大規模な補修整備は専門業者に委託する</li> <li>・ゲートの操作</li> </ul>	
	・堰 柱 鉄筋コンクリート	6 基			
	・洪水吐 鋼製ローラゲート 前面3方ゴム水密 幅20.4m×高4.35m 電動ワイヤロープ巻き取り式	4 門			
	・土砂吐 ステンレス製ローラゲート 前面3方ゴム水密 幅10.1m×高4.60m	1 門			

	電動ワイヤロープ巻き取り式				
	・管理橋 非合成版桁橋 L=112.0m×幅4.0m	1 橋			
2. 付帯施設	・取水口 ステンレス製ローラ ゲート 後方4方ゴム水密 幅3.0m×高1.50m 電動ラック式2本吊り開閉機	3 門			
	・左岸魚道 ハーフコン型 L=82.35m×幅2.0m トルク軸式起伏ゲート(油圧) 幅2.0m×高0.80m×1 門	1 箇所	足羽川堰 堤土地改 良区連合	・日常の点検、整備 ・軽微な損傷箇所の補修 ・専門業者による定期の 点検、整備 ・大規模な補修整備は専 門業者に委託する ・ゲートの操作 ・流木、ゴミ等の除去	
	・右岸魚道 魚道ブロック型 L=86.4m×幅3.0m トルク軸式起伏ゲート(油圧) 幅3.0m×高0.65m～0.9m×1 門	1 箇所			
	・水管理制御施設 クラウド装置	1 式			
合 計		1 箇所			

## (2) 建 屋

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 内 容	備 考
1. 足羽川 頭首工 管理事務所	・鉄筋コンクリート2階建 建築面積 210.12㎡	1 棟		・日常の点検、整備 ・軽微な損傷箇所の補修 ・専門業者による定期の 点検、整備	
2. 予備ゲー ト格納庫	・鉄骨平屋建て 建築面積 111.06㎡	1 棟	足羽川堰 堤土地改 良区連合	・大規模な補修整備は専 門業者に委託する ・敷地内の草、ゴミ等の 除去	
3. 東郷 事務所	・鉄筋コンクリート2階建 建築面積 177.07㎡	1 棟			
合 計		3 棟			

## (3) 水 路

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 内 容	備 考
1. 導水路	・1型水路 コンクリート 上幅5.7m×底幅4.5m×深さ1.8m	85.0m		・日常の点検、整備 ・軽微な損傷箇所の補修 ・専門業者による定期の 点検、整備	
	・2型水路 コンクリート 幅12.8m×深さ1.8m×L=38m ボックスカルバートL=55.29m	93.29m	足羽川堰 堤土地改 良区連合	・大規模な補修整備は専 門業者に委託する ・沈砂池の排土処理は専 門業者に委託する	
2. 沈砂池	・コンクリート 幅5.7m～ 20.0m、深さ0.75m～3.28m	68.0m			
3. その他	・転落防止柵 L=682.9m	1 式			
合 計		246.29m			

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 内 容	備 考
4. 酒生用水 サイフォン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューム管 Φ1200mm</li> <li>・呑口水槽 一式</li> <li>左岸マンホールゲート 幅2.25m×高さ1.275m</li> <li>右岸マンホールゲート ステンレス製ローラゲート 幅1.80m×高さ1.90m</li> </ul>	195m	足羽川堰 堤土地改 良区連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の点検、整備</li> <li>・軽微な損傷箇所の補修</li> <li>・専門業者による定期の点検、整備</li> <li>・大規模な補修整備は専門業者に委託する</li> <li>・排土処理は専門業者に委託する</li> </ul>	
合 計		195m			

(4) 分水施設

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 内 容	備 考
1. 基幹 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳光幹線 転倒ゲート 幅4.59m×高1.68m×1門</li> <li>・六条幹線 転倒ゲート 幅3.36m×高1.68m×1門</li> <li>・酒生幹線 転倒ゲート 幅3.45m×高1.68m×1門</li> <li>・三ヶ用水 スルースゲート 幅0.49m×高1.16m×1門</li> <li>・クラウド装置1式</li> </ul>	1箇所 (4門)	足羽川堰 堤土地改 良区連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の点検、整備</li> <li>・軽微な損傷箇所の補修</li> <li>・専門業者による定期の点検、整備</li> <li>・大規模な補修整備は専門業者に委託する</li> <li>・分水量の制御・監視</li> </ul>	
2. 徳光 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳光上江 転倒ゲート 幅1.80m×高1.20m×1門</li> <li>・徳光下江 転倒ゲート 幅1.65m×高1.20m×1門</li> <li>・荒木用水 転倒ゲート 幅0.90m×高0.90m×1門</li> </ul>	1箇所 (3門)			
3. 岩倉 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳光上江 スルースゲート 幅3.40m×高1.10m×1門</li> <li>・生部大味 スルースゲート 幅1.50m×高1.10m×1門</li> <li>・西袋大村 スルースゲート 幅0.80m×高1.10m×1門</li> </ul>	1箇所 (3門)			
4. 田中 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳光上江 幅3.7m</li> <li>・田中用水 スルースゲート 幅1.00m×高1.10m×1門</li> </ul>	1箇所 (1門)			
5. 徳光下江 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳光下江 スルースゲート 幅3.00m×高0.70m×1門</li> <li>・堂田川 スルースゲート 幅1.70m×高0.70m×1門</li> </ul>	1箇所 (2門)			

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 内 容	備 考
6. 四ヶ 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足羽四ヶ スルースゲート 幅2.20m×高1.00m×1門</li> <li>・河北用水 スルースゲート 幅2.10m×高1.00m×1門</li> <li>・クラウド装置1式</li> </ul>	1箇所 (2門)	足羽川堰 堤土地改 良区連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の点検、整備</li> <li>・軽微な損傷箇所の補修</li> <li>・専門業者による定期の 点検、整備</li> <li>・大規模な補修整備は専 門業者に委託する</li> <li>・分水量の制御・監視</li> </ul>	
7. 六条 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木田江守 スルースゲート 幅2.60m×高1.00m×1門</li> <li>・六条用水 スルースゲート 幅1.30m×高0.80m×1門 幅0.55m×高0.60m×1門</li> </ul>	1箇所 (3門)			
8. 木田江守 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木田用水 スルースゲート 幅2.80m×高1.00m×1門</li> <li>・社江守用水スルースゲート 幅3.20m×高1.00m×1門</li> </ul>	1箇所 (2門)			
9. 酒生 分土工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒生上江 スルースゲート 幅2.38m×高1.10m×1門</li> <li>・酒生下江 スルースゲート 幅2.17m×高1.10m×1門</li> <li>・稲津用水 スルースゲート 幅0.90m×高1.10m×1門</li> </ul>	1箇所 (3門)			
合 計		9箇所			

## 2. 配水の時期及び方法

4月1日から9月30日の期間は、かんがいとして期別毎に必要な用水量を取水し  
幹線水路の分水施設のゲートの開度調整により適正に配水する。

また、10月1日から3月31日の期間は、地域の生活用水及び施設の維持用水と  
して取水し、ゲートの開度調整により配水する。

取 水 時 期	用 水 量	かんがい面積	配 水 方 法
4月1日～4月20日	5. 7 6 2 m <sup>3</sup> /S	1, 9 4 4. 6 ha	ゲートの開度を調整して配水
4月21日～5月5日	9. 3 6 8 m <sup>3</sup> /S	1, 9 4 4. 6 ha	ゲートの開度を調整して配水
5月6日～9月30日	7. 5 6 7 m <sup>3</sup> /S	1, 9 4 4. 6 ha	ゲートの開度を調整して配水
10月1日～翌年3月31日	4. 9 9 4 m <sup>3</sup> /S	—	ゲートの開度を調整して配水

## 第3節 他の事業との関係

該 当 事 項 な し

## 第4章 維持管理費

### (1) 維持管理費

(千円)

種 別	通常維持管理費	電気通信運転費	合 計	適 用
頭首工	2,770	3,918	6,688	
水 路	15	—	15	
分水施設	—	341	341	
水管理制御	—	406	406	
小 計	2,785	4,665	7,450	

### (2) 施設利用期間中の整備補修費の合計

414,105 千円

(13,803千円/年)

※別途参考資料参照

## 第5章 効 果

減産防止額

45,238 千円

>

21,253 千円

## 第6章 図 面

別 添



効 果 関 係 資 料  
(維持管理費、減産防止額)

令和6年度における経済効果算定の考え方

維持管理

計画年経費

R3諸元調査（維持管理費）より

工種	区 分	係 数	備 考
用 水 路 (開水路)	受益： 50ha未満	20 円/m	延長当り
	受益： 50～100ha未満	22 円/m	延長当り
	受益： 100～200ha未満	25 円/m	延長当り
	受益： 200ha以上	40 円/m	延長当り
用 水 路 (管水路)	受益： 50ha未満	16 円/m	延長当り
	受益： 50～100ha未満	20 円/m	延長当り
	受益： 100～200ha未満	24 円/m	延長当り
	受益： 200ha以上	25 円/m	延長当り
排 水 路 (開水路)	受益： 50ha未満	74 円/m	延長当り
	受益： 50～100ha未満	77 円/m	延長当り
	受益： 100～200ha未満	87 円/m	延長当り
	受益： 200ha以上	78 円/m	延長当り
排 水 路 (管水路)	受益： 50ha未満	65 円/m	延長当り
	受益： 50～100ha未満	64 円/m	延長当り
	受益： 100～200ha未満	77 円/m	延長当り
	受益： 200ha以上	—	延長当り
農 道	A s 舗装	18 円/m <sup>2</sup>	舗装面積当り
	砂利舗装	66 円/m <sup>2</sup>	舗装面積当り
揚 排 水 機		7,760 円/kW	出力 X 台数当り
た め 池		3.1 円/m <sup>3</sup>	有効貯水量当り
頭首工	固定	27,736 円/m	堤長当り
	フローティング	26,708 円/m	堤長当り

電力料金

北陸電力 農事用電力（かんがい排水需要）

（調査年：R06.4月）

種別	料金	備考
基本料金		①
電力料金	夏期料金	20.47 円/kWh
	その他季	19.92 円/kWh

（使用月数 × ① × kW + 使用日数 × 使用時間hr / 日 × ② × kWh） × 消費税率1.10

# 1. 維持管理費の算定

## (1) 用水施設

1. 頭首工 (フローティング)	維持管理費	$103.7\text{m} \times 26,708\text{円/m} \div$	2,770 千円/年
	人件費 (常勤)	$250,000\text{円} \times 12\text{ヶ月} =$	3,000 千円/年
	電気代 (実績)		918 千円/年

6,688 千円/年

2. 導水路	維持管理費	$246.29\text{m} \times 40\text{円/m} \div$	10 千円/年
--------	-------	---	---------

10 千円/年

3. 酒生用水 サイフォン	維持管理費	$195.0\text{m} \times 25\text{円/m} \div$	5 千円/年
------------------	-------	--	--------

5 千円/年

4. 分水施設	電気代 (実績)		341 千円/年
---------	----------	--	----------

341 千円/年

5. 水管理制御 施設	クラウド使用料	(実績)	372 千円/年
	NTT使用料	(実績)	34 千円/年

406 千円/年

年間維持管理費

7,450 千円/年

※ 令和6年度、福井県調査資料並びに  
実績等により算出

※ 上記の金額は事業作成時のものであり  
変動することがある。

維持管理費基礎諸元

1. 頭首工

維持管理費 フローティングタイプ 26,708円/m  
人件費(常勤) 250,000円/月  
電気代(実績)

※聞き取りにて

年度	金額(千円)	換算係数	換算額
R3	868	1.108	962
R4	864	1.000	864
R5	929	1.000	929
計			2,755
平均			918

2. 導水路

維持管理費 (開水路) 200ha以上 40円/m

3. 酒生用水サイフォン

維持管理費 (管水路) 200ha以上 25円/m

4. 分水施設

維持管理費  
電気料 (実績)  
8箇所分

年度	金額(千円)	換算係数	換算額
R3	312	1.108	346
R4	323	1.000	323
R5	353	1.000	353
計			1,022
平均			341

5. 水管理制御施設

維持管理費  
クアウト使用料(実績)

年度	金額(千円)	換算係数	換算額
R3	359	1.108	398
R4	359	1.000	359
R5	359	1.000	359
計			1,116
平均			372

NTT使用料(実績)

年度	金額(千円)	換算係数	換算額
R3	—	1.108	—
R4	32	1.000	32
R5	36	1.000	36
計			68
平均			34

頭首工電気料 （実績）

年度	金額(円)
R3	868,258
R4	864,441
R5	929,466

分水工電気料 （実績）

年度	金額(円)								
	酒生	六条	木田江守	四ヶ	岩倉	徳光下江	徳光	基幹	合計
R3	40,880	27,203	32,864	43,289	41,120	19,894	22,841	84,848	312,939
R4	41,101	27,456	32,984	42,435	41,166	28,222	20,927	89,351	323,642
R5	45,904	30,809	37,061	44,424	45,970	31,842	23,107	94,076	353,193

支出済費用換算係数・消費税率						
年号	年数	和暦	西暦	換算係数1	消費税率	換算係数2 (S. 50=1.000)
S	50	S. 50	1975	2.495	0.000	1.000
S	51	S. 51	1976	2.363	0.000	
S	52	S. 52	1977	2.251	0.000	
S	53	S. 53	1978	2.159	0.000	
S	54	S. 54	1979	1.979	0.000	
S	55	S. 55	1980	1.792	0.000	
S	56	S. 56	1981	1.753	0.000	
S	57	S. 57	1982	1.713	0.000	
S	58	S. 58	1983	1.707	0.000	
S	59	S. 59	1984	1.696	0.000	
S	60	S. 60	1985	1.694	0.000	
S	61	S. 61	1986	1.718	0.000	
S	62	S. 62	1987	1.727	0.000	
S	63	S. 63	1988	1.691	0.000	
H	1	H. 1	1989	1.623	0.030	
H	2	H. 2	1990	1.559	0.030	
H	3	H. 3	1991	1.496	0.030	
H	4	H. 4	1992	1.473	0.030	
H	5	H. 5	1993	1.460	0.030	
H	6	H. 6	1994	1.454	0.030	
H	7	H. 7	1995	1.433	0.030	
H	8	H. 8	1996	1.424	0.030	
H	9	H. 9	1997	1.398	0.050	
H	10	H. 10	1998	1.425	0.050	
H	11	H. 11	1999	1.437	0.050	
H	12	H. 12	2000	1.433	0.050	
H	13	H. 13	2001	1.451	0.050	
H	14	H. 14	2002	1.455	0.050	
H	15	H. 15	2003	1.456	0.050	
H	16	H. 16	2004	1.433	0.050	
H	17	H. 17	2005	1.384	0.050	
H	18	H. 18	2006	1.360	0.050	
H	19	H. 19	2007	1.349	0.050	
H	20	H. 20	2008	1.270	0.050	
H	21	H. 21	2009	1.306	0.050	
H	22	H. 22	2010	1.295	0.050	
H	23	H. 23	2011	1.277	0.050	
H	24	H. 24	2012	1.328	0.050	
H	25	H. 25	2013	1.273	0.050	
H	26	H. 26	2014	1.239	0.080	
H	27	H. 27	2015	1.238	0.080	
H	28	H. 28	2016	1.258	0.080	
H	29	H. 29	2017	1.210	0.080	
H	30	H. 30	2018	1.204	0.080	
R	1	R. 1	2019	1.184	0.100	
R	2	R. 2	2020	1.196	0.100	
R	3	R. 3	2021	1.108	0.100	
R	4	R. 4	2022	1.000	0.100	基準年
R	5	R. 5	2023	1.000	0.100	
R	6	R. 6	2024	1.000	0.100	

## 2 施設利用期間中の整備補修費の算定

		整備補修費
頭 首 工	① 令和15年から令和19年	613,000 千円
	② 令和30年から令和37年	1,747,700 千円
分 水 工	① 令和15年から令和19年	0 千円
	② 令和30年から令和37年	400,000 千円
合 計	①	613,000 千円
	②	2,147,700 千円
土地改良区負担金額		
	① 613,000千円×15%=	91,950 千円
	② 2,147,700千円×15%=	322,155 千円
合 計		414,105 千円
※足羽川堰堤土地改良区提供資料より		
※15%はストックマネジメント事業の土地改良区負担割合より		
(2) 1年間の積立額	414,105千円÷30年≒	13,803 千円/年

かんがい排水事業 足羽地区 (S55～H6)  
農業用水再編対策事業 足羽川頭首工地区 (H10～H20)  
基幹水利施設ストックマネジメント事業 足羽川地区

施 設	耐用 年数	供用 開始 年度	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	合 計
			2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055		
			経過	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
足羽川頭首工																																				
堰柱	40	H20																																		



## 2. 減産防止額の算定

### 1. 減産防止額

作物名	水 稻	大 豆
農作物単価	253 円/kg	167 円/kg

※ 令和6年度 福井県農林水産部農村振興課通達より

単位生産量	(福井市)	
	527 kg/10a	131 kg/10a
	(水稻)	(大豆)

年 度	福井市	福井市
	水稻	大豆
	10a収量	
平成30年度	533 kg/10a	129 kg/10a
令和1年度	532 kg/10a	121 kg/10a
令和2年度	528 kg/10a	122 kg/10a
令和3年度	531 kg/10a	160 kg/10a
令和4年度	511 kg/10a	126 kg/10a
平 均	527 kg/10a	131 kg/10a
受益面積	1944.6 ha	
本地率	98.4%	

※ 福井農林水産統計年報より算出

- 1) 用水管理効果 : 水稻の水管理効果で減収率は2%を標準とする。
- $$\begin{aligned}
 &= \text{受益面積} \times \text{作付率} \times \text{本地率} \times \text{単位生産量} \times \text{農産物単価} \times \text{減収率} \\
 &= 1944.6 \text{ ha} \times 67.0 \% \times 98.4 \% \times 527 \text{ kg/10a} \times \\
 &\quad 253 \text{ 円/kg} \times 2 \% \\
 &= 34,187 \text{ 千円}
 \end{aligned}$$
- : 大豆の播種期及び湿潤かんがいの水管理効果で減収率を8%とする。
- $$\begin{aligned}
 &= \text{受益面積} \times \text{作付率} \times \text{本地率} \times \text{単位生産量} \times \text{農産物単価} \times \text{減収率} \\
 &= 1944.6 \text{ ha} \times 33.0 \% \times 98.4 \% \times 131 \text{ kg/10a} \times \\
 &\quad 167 \text{ 円/kg} \times 8 \% \\
 &= 11,051 \text{ 千円}
 \end{aligned}$$

減産防止額 45,238 千円

## 現況転作率（福井市・水稻）

福井県農林水産統計年報 平成30年～令和4年

<div> <div>項 目</div> <div>年 度</div> </div>	<div> <div>耕地面積(ha)</div> <div>①</div> </div>	<div> <div>作付面積(ha)</div> <div>②</div> </div>	<div> <div>転作率(%)</div> <div><math>(①-②)/①</math></div> </div>
平成30年	7,460	5,330	28.6
令和1年	7,800	5,290	32.2
令和2年	7,760	5,210	32.9
令和3年	7,750	4,990	35.6
令和4年	7,730	4,970	35.7
平 均	7,700	5,158	33.0

○現況転作率は過去5ヶ年の平均値とした・・・・・・・・・・ 33.0%

作付面積及び収穫量一覧表( 福井市 )

福井県農林水産統計年報 平成30年～令和4年

作物名 年 度	水 稻			小 麦			六条大麦			大 豆			そば		
	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)
平成30年	5,330	533	28,400	83	202	168	857	169	1,450	435	129	562	576	36	208
令和1年	5,290	532	28,200	50	224	112	886	336	2,970	431	121	522	542	51	276
令和2年	5,210	528	27,500	42	136	57	928	329	3,050	412	122	503	555	74	410
令和3年	4,990	531	26,500	×	×	×	972	328	3,190	410	160	656	563	38	214
令和4年	4,970	511	25,400	×	×	×	1,040	361	3,740	435	126	548	604	27	161
計・平均	25,790	527	136,000	175	193	337	4,683	307	14,400	2,123	131	2,791	2,840	45	1,269
備 考	市町村データ			市町村データ			市町村データ			市町村データ			福井県データ		

作物名 年 度	さといも(年間)			だいこん(秋冬)											
	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)
平成30年	* 229	* 1,179	* 2,700	27	2,037	550									
令和1年	* 217	* 1,272	* 2,760	23	2,304	530									
令和2年	* 212	* 1,259	* 2,670	19	2,042	388									
令和3年	* 209	* 1,268	* 2,650	18	2,117	381									
令和4年	* 208	* 1,370	* 2,850	18	2,006	361									
計・平均	1,075	1,268	13,630	105	2,105	2,210						0			
備 考	福井県データ			福井県データ			福井県データ			福井県データ			福井県データ		

※「\*」印のある数値については、福井県全体のデータとする。

## 8 耕地面積（令和5年）

区 分	田畑計	田 耕 地		水田率	畑耕地
	(1)	(2)	本 地	(2)/(1)	
	ha	ha	ha	%	ha
福 井 県	39,600	35,900	35,000	90.7	3,660
福 井 市	7,730	7,330	7,220	94.8	404
敦 賀 市	858	761	721	88.7	97
小 浜 市	1,410	1,290	1,260	91.5	117
大 野 市	4,180	4,040	3,880	96.7	146
勝 山 市	1,900	1,750	1,670	92.1	145
鯖 江 市	2,020	1,950	1,930	96.5	71
あ わ ら 市	3,380	2,580	2,540	76.3	797
越 前 市	3,590	3,400	3,320	94.7	187
坂 井 市	6,580	5,850	5,790	88.9	731
永 平 寺 町	987	926	894	93.8	61
池 田 町	461	405	386	87.9	56
南 越 前 町	1,030	934	896	90.7	99
越 前 町	1,400	1,230	1,190	87.9	169
美 浜 町	821	760	719	92.6	61
高 浜 町	424	345	326	81.4	79
お お い 町	730	650	625	89.0	80
若 狭 町	2,060	1,700	1,630	82.5	359

「耕地面積調査」の結果による。

北陸農林水産統計年報令和4～5年 福井県より

$$\text{本地率} = \frac{7,220 \text{ (本 地)}}{7,330 \text{ (田耕地)}} \times 100 = 98.4\%$$

3. 作物生産効果要因別増収率等（参考）

①増収率

作物名	効果要因		区 分	増 収 率		備 考
				範囲	標準	
水 生 産 増 減 効果	作付増減効果	作付増減効果		%	%	営農計画による。
		減産防止効果				農資資料又は用水不足率等に基づく計算式による。
	増産効果	干害防止効果				比較地区の事例又は試験データによる。
		水害防止効果				
		水質汚濁防止効果				
		病害防止効果				
	増収効果	市水温防止効果				排水水路が完備し普通期の用水不足がない場合の増収率は0%。
		深水効果				
	増減効果	その他の効果				排水水路が完備し普通期の用水不足がない場合の増収率は0%。
		立水管理改善効果	用排水施設完備、普通期の用水不足あり	1~2	2	
	地 条		〃 不備、 〃 なし	1~2	2	排水水路が完備し普通期の用水不足がない場合の増収率は0%。
			〃 不備、 〃 あり	2~3	3	
	作 好	乾田化効果	グライ層の出る位置 0~30cm	4~8	6	グライ層が50cm未満の場合の増収率は0%。
			〃 21~50cm	1~4	3	
	転 効果	客土効果		1~10	5	比較地区の事例又は試験データによる。
		作型転換効果				

（付）関係通知第 669

作物名	効果要因		区 分	増 収 率		備 考
				範囲	標準	
水 生 産 増 減 効果		田畑転換効果				比較地区の事例又は試験データによる。
		その他の効果				
	品質向上効果	水質保全効果				〃
		その他の効果				
畑 生 産 増 減 効果	作付増減効果	作付増減効果				営農計画による。
		減産防止効果				比較地区の事例又は試験データによる。
	増産効果	遊蕩かんがい効果	かんしょ	10~20	15	
			果 菜 類	10~20	15	
	増収効果	畑地かんがい効果	葉 菜 類	5~20	13	
			さ い も	20~40	30	
	減収効果		だ い こ ん	5~20	15	
			豆 類	5~10	8	
	果 実 効果		た ば こ	5~10	8	
			桑	1~10	5	
			茶	5~20	13	
			果 樹	10~20	15	
			飼料作物（青刈り）	10~30	20	

（付）関係通知第

※改訂版 新たな土地改良の効果算定マニュアルより